

# 八事山文庫

3002号

特集

三百回御遠忌によせて  
……………2ページ  
尾張四観音巡り  
……………9ページ

今年一年が良き年となるように  
力強い読経と護摩の炎が御仏へ願いを届ける



去る1月1日～3日、新年初護摩祈禱会が興正寺西山本堂にて執り行われました。参列された皆さまの、新たな年が良い年となるよう御祈禱させていただきました。

## 杜のコラム

勉強って、なんでしなきゃいけないの。したり顔でうっかり返すには難しい質問である。

多くの学生と呼ばれる子ども、青年たちにとつての勉強とは、姿勢正しく座り授業を聞くこと。課題を期日までに終わらせて提出すること。折々に試験を受けてそれをクリアすることだ。彼らは、生活態度で評価される。試験の点数で区分けされる。入

学した学校名で判断される。書いていても、気分が重たく沈んでくるのだから、当の本人たちは面白いかと問われて素直に頷けまい。果たして何の意味があるのかと考えるもするだろう。

だがこれらは決して無意味なものではない。国語も数学も社会も理科も英語も、保健体育や家庭科だって、教わるものは大いにその人の基礎力となる可能性を秘めている。すなわち、日々生きていく中で起こる問題を

どう解決するか、その手段や視点をどれほど持っているのかということ。勉強は目的ではなく、何かを達成するための手段であり、解答を導き出すための材料でもある。点数で評価してもらえるのは学生と呼ばれる時期だけのこと。我々は、培った基礎の引き出しを意識して(あるいは無意識に)現実の社会で生かしているはずなのだ。日常生活で確かに因数分解は使わないかもしれないが、お金の計算を全くしない人はいないだろうし、誰かとする会話ひとつとつても、言葉の多寡は相手の人となりを知るに十分な指標である。

勉強は義務ではなく、先人たちが積み上げてきたもの、解明してきた数々の魔法に触れる権利なのだと思う。どのように使うかは自分次第、自分で決めていい。だが忘れないでほしい。決して世界中の誰もが当たり前前に得られる権利ではないことを。学べるといふことは、本当に幸せなことだ。

この号が誰かの目に留まるころにはセンター試験も終わっているだろうか。中学、高校、大学、それぞれに本格的な受験の季節である。願わくは若人たちの努力が実るよう、それが自らの手で創り出す、未来への力強い階段となるように。

3/18 (日) ~ 24 (土)

## 平成30年 春季彼岸会

西山本堂・圓照堂にて

お彼岸は、仏教の教えが古くからの風習と融合した日本独自の習わしです。日本には、古来より農耕儀式や自然崇拝の考えがあり、種を撒く春や収穫の秋には五穀豊穡や安全を山や先祖に祈願しました。これらの風習が今日の「先祖供養」や「お墓参り」につながっています。興正寺では期間中、合同供養会を執り行います。ご家族そろってお参りし、亡き方々に元気な姿をお見せください。

3/21 (水)

## 人形仏具供養会

思い出がたくさんつまった人形・仏具に感謝を込めてお別れのご供養を修します。春と秋のお彼岸のみ行われる法会です。この機会に、人形や仏具をお持ちくださいませ。

※一口 三千元より(規定がございます)

詳しくは来月号をご覧ください

3/21 (水)

## 動物慰霊法要

お塔婆を建て、大切なご家族の一員であった動物たちのご供養をいたします。

※一霊 五千元より(二尺塔婆授与)

3/31 (土) ~ 4/1 (日)

## 第4回 興正寺さくらカレッジ

皆さまから好評のお声をいただき、本年も「興正寺さくらカレッジ」を開講いたします。「寺子屋」という古き良き学びの場として、気軽に学んでいただける場所や時間をお届けします。(詳しいご案内は公式HPやチラシにてご確認ください)



2/3 (土)・9 (金)・15 (木) 毎月第1土曜・第2金曜・第3木曜

【無料】お坊さんダイレクト

各日10時~15時 完全予約制(各回50分ずつ)

仏事の疑問に僧侶がホッペで答える新スタイル相談会。墓じまい・仏壇じまいの疑問、永代供養・葬儀の相談などお気軽にお問い合わせください。

☆予約申込 興正寺公式ホームページまたは電話にて

永代供養

お葬式

お墓

ご法事



仏事のお困りごと  
何でもお気軽にご相談ください

# 興正寺開山和尚Ⅲ 天瑞圓照三百回御遠忌

## 興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて(2)

### 天瑞圓照和尚の足跡をたどる(2)

高野 正清

#### 《黄檗宗に参ず》

「黄檗宗」と名前を聞いたことはあったものの、あまり詳しい事まで知らず。日本の三禅宗の一つで中国の僧侶が開いたもの、くらいの知識しかありませんでした。今回は八事山興正寺の開山である天瑞圓照大和尚も見て感じ学んだものを、私も学んでいきたいと思います。

#### 《隠元隆琦禅師》

禅師は、中国明代末期の臨済宗を代表する費隠通容禅師の法を受け継ぎ、中国にある黄檗山萬福寺の住持でした。日本からの度重なる招請に応じて、六十三歳の時に弟子二十人を伴って来朝。のちに禅師の弟子となる妙心寺住持の龍溪禅師や後水尾法皇そして徳川幕府の崇敬を得て、宇治大和田に寺地を賜り、黄檗山萬福寺と名付けて禅寺を創建されました。そしてまた、禅師が中国から持ってきたものは、宗教のことだけでなく、美術、医学、建築、音楽、史学、文学、印刷、煎茶、普茶料理等広汎と色々なものをお持ちになりました。その中には皆さんがよく知っている、隠元豆・西瓜・蓮根・孟宗竹なども禅師の請来によるものです。隠元隆琦禅師は物心両面にわたり、日本文化の発展に貢献され、真空大師という大師号を尊下されています。

中国から日本へとわたり、宗教だけでなくさまざまな影響を与えた禅師。私たちも見習い宗教だけに限らず、その時代に必要なものを吸収し学んでいく必要があると強く感じました。



はじめに

平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あってこの八事の地に「八事山遍照院興正律寺」を創建した和尚は、いかなる人物であったのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介いたします。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

### カレンダー連動企画(2)

#### 【第二回】黄檗に参す(平成30年2月カレンダーより)

長慶寺で剃髪した後、天瑞和尚は黄檗山萬福寺二世木庵禅師の元に参じている。これは、当時の臨済正宗(明治以降、黄檗宗と称する)の隆盛によるものであろう。

黄檗宗は、明朝時代の中国国内だけでなく日本にまでその名が知られていた隠元禅師が渡来し広めた禅宗の一派で、木庵禅師はその弟子である。

隠元禅師は長崎から江戸に入り四代将軍徳川家綱に謁見し、その帰依を受けた。その後京都の宇治に与えられた地に萬福寺を創建し、特に文化面で日本に多大な影響を及ぼした。

隠元・木庵 即非は「黄檗三筆」と称される能筆家でもある。興正寺が所蔵する掛軸の中には三禅師の書画があり、確かに繋がりがあつたことが窺い知れる。



### 平成30年興正寺カレンダー

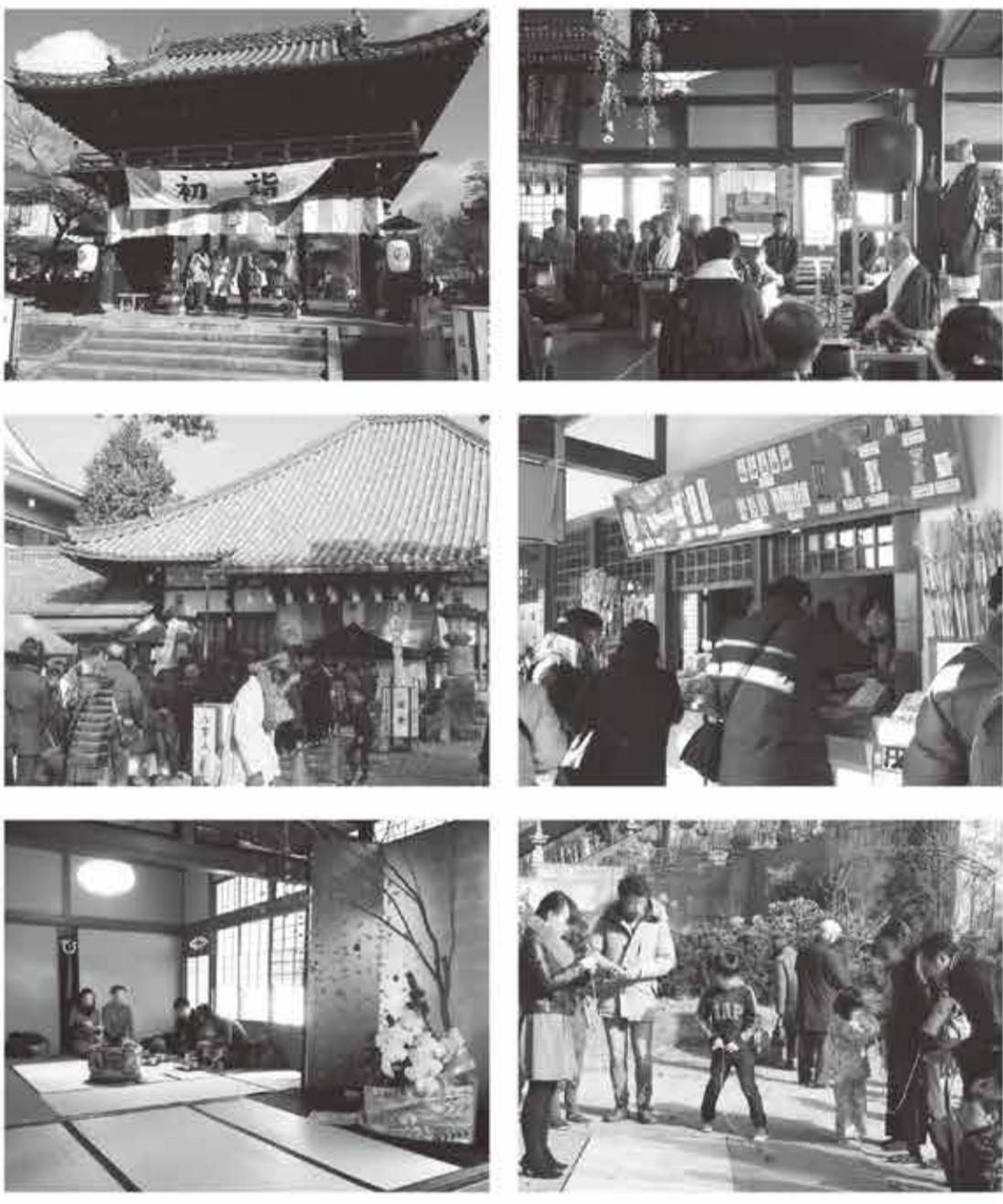
開山和尚三百回忌記念の特別なカレンダーです。當山の年中行事もご案内しております。納経所・各窓口で数量限定で無料配布しております。この機会に是非ご覧くださいませ。



# 八事山歳時記

## 興正寺で過ごすお正月

凛と冴えわたる清々しい空気に満ちた境内に、多くの方にご参拝いただきました。新年初護摩祈祷のほか、なつかし遊びやおいしい屋台で楽しむ方の姿で華やいた雰囲気にも包まれました。本年も皆さまの笑顔と共に、より良い年になるようつとめて参ります。



### 声高らかに 大般若経転読祈祷会

去る一月五日(金)、大随求明王の初縁日に、西山本堂にて大般若経転読祈祷会が厳修され、新春の吉祥を祈願しました。寒い中多くの参拝者が、熱心に僧侶の大般若経に耳を傾けていました。



### 雪んこ茶会

十二月二十二日、可愛らしい笑い声とともに子どもたちがやってきました。特別な時間ははじまりです。シュンシュンとお湯のわく釜を前にお茶を点てるのも、それをいただくお客さまも、すべて子どもだけのお茶会です。はじめて見る光景を不思議そうに眺める子、去年を思い出しながらワクワクしている子。

素敵なひとときを皆ですごしたことをいつか思い出してくれるかな。工作では、お正月に飾る「舞玉飾り」を作りました。



# 地域版

人と街とお寺をつなぐ場所  
八事山文庫

如月 旧暦 一月の  
衣を更に着る月であるから「衣更着」ともいわれる。

節分 一月二日  
各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のこと。

立春 一月四日  
旧冬と新春の境い目にあたり、この日から春になると言われる。

雨水 二月十九日  
空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になるとい意味。

## ひと

### 興正寺と共に、時代のニーズに沿ったサービスで成長していきたい。

名古屋典礼株式会社 代表 松原章夫さん

興正寺では、新たな人生のスタートを彩る結婚式から、人生の最期を締めくくるための葬儀などが行われています。今回は、興正寺の指定業者として葬儀を施行している名古屋典礼株式会社の松原さんにお話を伺った。

「私たちは、自社のセレモニーホールを持たず、興正寺境内の普照殿や光明殿のホールを利用して葬儀を執り行なっています。興正寺で葬儀を行う方は、興正寺の檀家さんだけとは限りません。宗派が違っても葬儀ができますので、「近所の方であったり、自然に囲まれた雰囲気があったり、遠方から来られる方が泊まれるホテルが近くにあるお寺が良いという方だったり、そのニーズは様々です。」と語る松原さん。

興正寺のイベントでは気軽に葬儀相談ができる

葬儀以外にも会員向け終活セミナーの企画や、葬儀の際のマナーブック制作も。

時代の変化によって、お寺と人の関係も変化している。親は檀家としてお寺とやりとりしているが、その子どもは家を離れて生活している。葬儀も企画している。

「今までは、亡くなった方のためにお金をかけて大々的に葬儀を行うというのが当たり前でしたが、これからはそんな時代ではなくていくと思えます。最近では、費用を抑えるため小規模な家族葬であったり、お通夜や告別式をしないで火葬だけ行う直葬というものも増えていきました。現在、興正寺の責任者の方と相談しながら、新しいスタイルの葬儀も企画しています。」と松原さんは言う。

「お寺との結びつきを全く知らないということもよくある。また、昔と比べ信仰心というものが希薄になりつつあるため、神仏との結びつきを重視しない人も増えているのが現状だ。それでも家族が亡くなった際には、やらなくては、いけないという日本人の心が働く。そんな中「昔は、ご家族とお寺が直接やりとりしていた事について、お寺とどうやりとりして良いか分からないという方が増え、ご家族とお寺との橋渡しの役割を担うことが多くなりました。分からないことが多いと言われる葬儀ですが、興正寺では明確にしてくださいとされているので、とても動きやすいです。これからは、興正寺と連携を取りながら時代のニーズに合わせて変化し成長をとまらしていきたいと思っています。」そう言って微笑む松原さんだ。



△興正寺から飯田街道を東へ少し歩くと見えて来る、名古屋典礼のオフィス。



△葬儀以外にも会員向け終活セミナーの企画や、葬儀の際のマナーブック制作も。



●松原 章夫さん  
約10年前、グループ会社が興正寺の指定業者として認められ、名古屋典礼を設立。その代表として、お客様のニーズに応えるため日々奔走している。

## 親子で読みたい ことのは あそび

「身口意」。身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していきます。

ちいさな ゆきが  
ちらりん ひとつ  
ひとさしゆびに おりてきた  
ひとさしゆびの ゆびさきにてんの つかいのよつに して

ちいさな ゆきが  
ちらりん ひとつ  
ひとさしゆびで きえちやつた  
ひとさしゆびの ゆびさきで

てんの よつじは いわないで

「ちいさなゆき」まど・みちお

まど・みちお(一九〇九―二〇一四)は、山口県出身の詩人。「ぞうさん」「やぎさん」「ゆうびん」「ねんせい」など「ふしぎなポケット」などの童謡で余りにも有名です。

わかりやすく、ユーモラスで大らかな言葉たち。それは一〇四歳まで生きた大詩人から、子どもたちへと届けられるやさしい手紙のようなものなのかもしれません。「強いものも弱いものも、地球上にはありうるのです。たったひとり、自分ひとりで、人間は生きていくわけではありません」

八事の山には眺めの良い場所がいくつ  
かあります。人気は東山の入り口、エス  
カレーターを上がった所です。行事の折  
りには「見晴らし茶屋」が開かれたり、  
写真をとる家族連れの皆さんが多く集  
まります。東山を背にし、西側が開けて  
いるので、残念ながら昇る朝日はご覧頂

昨日 今日 あした…  
八事のお山の

けません。  
今年の開山天瑞圓照和尚  
の三百回御忌となりま  
す。和尚が尾張徳川家二代藩主  
光友公の帰依を受け戴いた  
興正律寺の名の元にその教  
えがこの地に根付いて三百有  
余年、興正寺から夕日の沈  
む方角を眺めれば、視線の  
先には大空と緑、その先にあ  
る人々の息づく名古屋の街  
の中心があります。これは、

あえて不遜な言い方をすれ  
ば、仏さまの視野に立つこと  
かもしれせん。この地で、空  
と、風と、木々の囁きと、鳥や  
虫たちの命の息づかいを感じ  
れば、自ずと手を合わせ、幸  
せに感謝したくなります。  
さあ、記念の年を迎える  
八事のお山で、幸せな一年に  
向かって力強い一歩を踏み出  
しましょう。(井上)



●甘味・食事処「八琴庵」より

5・13・21日限定

季節のそば(2月) 刻みあげ蕎麦



お出汁をたっぷり含んだ  
ふっくらお揚げがお腹を満  
たします。  
旬の野菜、菜の花を添えて。  
温かいお蕎麦でほっこりしま  
せんか?

お知らせ  
掲示板

八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 10:00~16:00 (L.O.15:30)

定休日 毎月5日を過ぎた火曜日 2月は2月6日(火)、3月は3月6日(火)です。

@FM80.7に、知っているお店が登場するかも?! 八事山興正寺の提供でお送りする FM 番組!

笑顔とシアワセおすそわけ  
毎週木曜 11:53~12:00  
パーソナリティ: 黒江美咲  
黒江美咲のふらっと街巡り  
素敵な街にはその街の記憶を語る先人がいて、その話を聴いて育った、地元を愛する人がいて、  
その街に惹かれて集まる人がいて、街の歴史に新たな1ページが加えられます。  
そんな「もっともっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた八事山興正寺提供の番組です。

放送時間の変更のお知らせ

本年より黒江美咲さんの番組 muse beatの木曜日の中にお引越、時間も拡大となりました。  
毎週木曜日 午前11時53分~お昼12時00分の放送をお楽しみに!

1/4 興正寺より2018年のお知らせ

1/11 カフェ・ダウニー(TEL.052-833-4377)

ダウニー第1号店として歴史のあるお店。こだわりのサンドウィッチやハンバーガーがおすすめ。

1/18 ジュエリー スタジオ アートギャラリー

Jardin de bijoux (ジャルダン・ドゥ・ビジュ)

◆ジュエリー TEL.052-861-1331

◆アートギャラリー TEL.070-5252-0969

音楽スタジオ、アートギャラリーを併設するジュエリーショップ。お気軽にどうぞ。

ラジオは右記のページからもお聞きいただけます。 <http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/>

仏事の

ひ、き、み、



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか?

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その37 厄年のおはなし② 数え年(全3回)

さて、「厄年」を調べる時には、この間お話しした「数え年」で調べます。

「満年齢」じゃないんだね!ところで、「厄年」っていつから始まっちゃうんですか?

1年がどの期間か、だね。節分を基準にして2月4日から次の年の2月3日を1年とすることもあれば暦と同じ、つまりお正月を基準にして1月1日から12月31日を1年とするこ  
ともあるよ。興正寺ではこの考え方をしています。

いろんな考え方があるんですね~

「厄年」の考え方は、お寺・神社によって様々です。迷ったらそのお寺・神社で聞いてみましょう。興正寺では、厄年の男女の違いもないと考えますよ。気になる時は、お寺の年齢早見表で見てみてくださいね。

興正寺ホームページではもっと供養のことがわかっていきます。トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!

# 石碑でめぐる歴史浪漫

## 十一 埋もれた至宝 興正寺石造物群

【其の四】浄土へのプロムナード ―石造宝篋印塔―

興正寺には一般墓地を除いて三四五基の宝篋印塔が確認されています。その内、圓照堂から九品台に至る坂道の両側に林立している一〇九基は、江戸時代からほとんど変わっていません。その様子を猿蓑庵は『絵本音聞山』の中に「西山能満堂の側らより坂道を上り行けば、両側に石の塔数多あり。此辺を高野のうつしといふ。」と記しており、このように宝篋印塔が集中して造立されている寺院は見当たりにません。

経文には「宝篋印塔を造立し、亡くなった人や祖先を供養すれば、地獄で苦しんでいる先祖があつても、その罪が消え極楽に往生できる。造立した人と共に、開眼供養に参列した人やその縁者にも功德及び極楽で仏さまにお会いできます。」と説かれており、この教えのもとに多くの人が宝篋印塔を造立しました。

これらの造立は、総本尊大日如来が造立された直後と五重塔が建立されたころに集中しています。大仏が造立された直後、天瑞和尚が在世の時は、熱田、鳴海など近隣の村人が中心ですが、五重塔建立後は、名古屋の商人や一銭講に参加できなかった近郊の村人たちが五重塔と同じ

功德を持つ宝篋印塔を造立し、現世の幸せと来世の極楽往生を願っています。全体を見ると、造立者は名古屋城下をはじめ尾張国のほとんどの村々に広がっています。

女人門跡の左側に立派な宝篋印塔が三基並んでいるのは、尾張徳川家七代藩主宗春公の母宣揚院が二代藩主光友公の御追善、七代藩主宗春公の延命と自身の所願円満を願って造立したものです。その前方には、開山天瑞和尚から十五世壽泉和尚までの歴代住職の宝篋印塔も並んでいます。

宝篋印塔の間を通り抜ける風に当たるだけで、様々な罪が消滅し、極楽往生できると言われています。西山から東山へ続く参道をゆつくりと歩いてみてください。宝篋印塔群を通り抜けた先は「九品台」、浄土の世界です。

(小出)



△東山 石造三十三観音

## 竹翠亭で楽しむ季節のしつらい — 桃花の室礼 —

- ◆日時 2月27日(火)~3月8日(木)  
10時~16時
- ◆場所 茶室 竹翠亭
- ◆茶券 500円  
(抹茶と季節の和菓子付)



## マルシェ茶席について

僧侶の点前でお茶をいただける貴重な機会。穏やかな心でお過ごしいただけます。茶道の心得がなくても、参加いただけます。

- ◆日時 2月21日(水)  
11時~13時  
※予約不要
- ◆場所 茶室 竹翠亭
- ◆茶券 500円  
(普門園拝観料にて参加可)



## 竹翠だより お茶が教えてくれた しあわせ

### 良い時間

今年もたくさんのご家族が竹翠亭で新年のお茶を楽しんでくださいました。「迎春のお抹茶は竹翠でと決めてます」という方もいらっしゃり、それは本当にうれしい限りです。特に子どもたちがご家族と一緒に、いつもより少しあらためたこの席でお茶を飲む様子はほほえましいものです。両手をついてのご挨拶に始まり、はにかみながらも大人のする所作を真似たり、それを見ている周りの方へもほほのぼのとした空気が広がります。私自身も幼い頃、ご近所でお薄をごちそうになった時にちょっとしたうれしい気持ちになったことを思い出します。

先日、お客さまが帰り際に「良い時間をありがとうございました」と言ってくれました。私たちに与ってはなによりうれしいメッセージで、じんわりと心に残る言葉です。

仕事としてお茶をお出しして「うれしい」と思う時にも、「お茶って何だろう」とふと立ち止まります。茶道が大好きでものめり込むほどでもなく、お稽古を積んでも、お茶会を経験しても、他の誰よりも数多くお抹茶を点てていても、その答えは見つかりそうで見つからず、定まらず、追いかけても届かずの繰り返しです。

お茶を習っていないくても人は段階的に様々な目覚めを経験していくのでしょうか、ふるまい、しつらい、よそおい、つつしみ、うやまい、おもいやり。お茶の中にある学びや気づきは順番に向こうからやってきます。そして、いつの間にかお茶が心の支えになった今、心得や作法を身につけることよりも、よりよい人間関係作りのためのエッセンスがちりばめられていると感じます。

お客さまにとっても「良い時間」、私たちにとっても「良い時間」。今年もお客さまとの出会いが楽しみです。



# 尾張四観音をめぐる

## 尾張四観音とは？

名古屋城を中心に、東西南北で観音菩薩をお祀りする四つのお寺。二月三日の節分には恵方参りで賑わう。

「尾張四観音」は名古屋築城の際に徳川家康が定めたと言われるが、ある伝承では、鎌倉時代の傑僧・無住が定めたとも。古くから靈驗あらたかな観音菩薩として信仰を集めて来た名刹が名を連ねる。

## 恵方とは？

陰陽道では、自分の居場所を中心に、各方向に吉凶の方位神がいるとされ、そのなかで私たちに恵みをもたらしてくれる「歳徳神」のいる方向を「恵方」という。方位神

## 恵方の周期

五年周期で巡る。平成三十年は笠覆寺。以降、龍泉寺→荒子観音寺→笠覆寺→甚目寺の順で恵方となる。恵方の年には



歴史をもつ寺ばかり。どの寺院も、立派な本堂に山門、多宝塔などの塔を持つ。「七堂伽藍」を備え、僧俗大勢が集まる寺だうたに違いない。また古地図と重ね合わせると大半が海に沈んでしまう名古屋のなかで、四観音の各寺院は古くからの陸地に建つ。太古の交通の要所ばかりだ。尾張四観音は、奥が深い。(文責 樹田英伸)

私たちは毎年居場所を変えていくが、年の変わり目である節分に、新しい恵方の方向にある寺社を参詣して御利益に預かろうとするのが「恵方参り」。

参詣者の数がひととき多くなる。(笠覆寺のみ五年のうちで二回、恵方となる)

## 甚目寺 鳳凰山甚目寺

●本尊／聖観音(五九七年開創)

善光寺如来の脇侍という三國伝来の観世音菩薩をお祀りするお寺として、古来より篤い信仰を集めて来た。重要文化財の南大門や三重塔などがひしめく重厚な境内は町のかげで、門前を車が行きかう二方で、境内では鳩と遊ぶ子どもたちのゆつたりとした時間が流れる。かつては節分より初観音(旧暦二月十八日・本年は三月五日)の方が賑わったとのこと。毎月十二日は「甚目寺観音づくり朝市」が開催。

恵方は北北西



〒490-1111  
愛知県あま市甚目寺東門前24番地  
TEL.052-442-3076

## 笠寺 天林山笠覆寺

●本尊／十一面観音(七三三年開創)

地域の活気が溢れる居心地の良い境内に、立派な本堂に山門、多宝塔や小さなお堂がひしめき合う。海から流れ着いた霊木を彫った観音さまが本尊。この観音さまが雨ざらしとなっていた時に笠で覆いをしてあげた心優しい娘に素晴らしい良縁を与えたことから寺の名前も「笠覆寺」に。信仰の場の美観向上・安全強化のみならず文化発信の場として多くの人が集えるように、境内再整備事業をすすめている。

恵方は南南東



〒457-0051  
愛知県名古屋市南区笠寺町上新町83  
TEL.052-821-1367

## 龍泉寺 松洞山大行院龍泉寺

●本尊／馬頭観音(七九五年開創)

冷涼な山の上に重要文化財の黒々とした仁王門。それをくぐると鮮やかな朱塗りの本堂と多宝塔に圧倒される。比叡山を開いた最澄上人が熱田神宮に参詣の折、龍神よりお告げを受け、この地をたずねて池のかたわらでお経を唱えたところ、池から馬頭観音像が湧き出し、ご本尊として安置なさったのがはじめ。庄内川を見下ろす展望台は絶景！城をかたどった宝物館と展望台は日曜・祝日のみ拝観可能。

恵方は北北東



〒463-0801  
愛知県名古屋市守山区竜泉寺一丁目902番地  
TEL.052-794-3647

## 荒子観音寺 浄海山円龍院観音寺

●本尊／聖観音(七二九年開創)

すみずみまで清掃の行き届いた境内に、地元の方が常にお参り。地域に愛されているお寺である。重要文化財の多宝塔は美しく、また仁王門のなかにはユーモラスな円空仏の仁王さま。江戸時代、独特の仏像を彫りながら全国を周られた円空上人の仏像で、現存する五〇〇〇体のうち、二二五〇体がこの荒子観音寺にある。この円空仏は毎月第一王曜日午後一時〜四時のみ公開。戦国武将・前田利家ゆかりのお寺でもある。

恵方は西南西



〒454-0861  
愛知県名古屋市中川区荒子町宮窓138  
TEL.052-361-1778



## 2月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

## 仏讃歌

## 御詠歌上級

講師 鈴木隆弘

2月7日・27日 13時30分より

光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

## 御詠歌初級

講師 鈴木智弘

2月14日・16日・21日 14時より

光明殿

金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

## 御詠歌入門

講師 鈴木智弘

2月4日・17日 14時より

光明殿

金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

## 体験する

## 阿息観(密教禅)

講師 杉浦宣秀

2月10日・20日 14時より

普照殿/奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

## 阿字観

講師 杉浦宣弘

今月はお休みです。

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

## 写経・写仏

講師 榊田英伸

2月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

## 学ぶ

## 仏教入門講座

講師 森田泰澄

2月22日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

## 仏典読み解き講座

講師 榊田英伸

2月28日 10時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

## 健康づくり

## TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

2月21日 10時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

## マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

2月21日 13時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

## 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

## 写経

2月6日

講師 西山海良

支具料1,500円

## 阿息観

2月27日

講師 西山海良

支具料1,500円

## 日々折々の書

2月26日

講師 中村 均

支具料2,000円

## 水墨画

2月23日

講師 山田静舟

支具料2,000円

## きもの装い(入門・応用)

2月14日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

## 茶の古典を読む

2月1日

講師 榊田英伸

支具料1,500円

御詠歌上級・初級・一日修養会を除くすべての講座でWEB予約が可能です。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

## 八事今昔物語

## ～そこにお寺のある暮らし ⑥～

年始を迎えた頃、やはり多く寄せられる質問が「今年の恵方は?」です。実はこの質問、正しく答えると「平成三十年の恵方は、南南西や南」。「やや南??」とはまた曖昧な表現ですが、この質問で参拝の皆さまが本当に聞きたいのは「今年は笠寺観音さんですよ」という答えでしょう。恵方というのは、簡単に言えば「年神さまの来る大吉の方角」のこと。名古屋地方では、菩提寺や地元の寺社と共に、恵方にある四観音のお寺へも初詣や節分豆まきに行くと良いとされていますが、毎年代わるので(十干で変わります)お寺へお尋ねになる方が多いのです。今年は戌なので、南南西にある笠寺観音が「恵方のお寺」になるのです。いつの間にかメジャーになった恵方巻

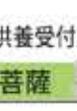
き。間違っていないのは、恵方の「お寺」に向かって食べるのではありません。今年の恵方、「南南西」に向かって食べてください。縁を切らないように丸かじりが良いとか、無言で食べると良いとか…。人々が幸いを祈る気持ちは今も昔も変わりません。それで気持ちにメリハリがつくならば、迷信と言って一蹴せずに残していくべき文化でしようが、大切なのは形より、厄(悪い心)を落としてまっさらな自分になり、神仏の力でより良い一年にしようという前向きな気持ちです。

暦が伝えてくれる今年の星回りで、黒星の人は少しでも難を小さく、白星の人はさらなる幸運を祈るのが星祭、星供と呼ばれる行事です。神秘の星に一年の無事を祈りましょう。當山ではお一人ずつお作りしたお札を、真言秘法をもって供養しお授けいたします。お寺は人々の祈りの総意を、神仏にお伝える絶好の場所なのです。(井上)

興正寺行事カレンダー

2月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00  
休園日(休業日)/9日(金)・10日(土)・20日(火)・24日(土)

月	火	水	木	金	土	日
29 赤口	30 先勝	31 友引	1 先負 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田 英伸	2 仏滅	3 大安 節分 ◎節分厄除祈禱会 10:00/10:20/10:40 11:00/11:20 13:00/13:20/13:40 14:00/14:20/14:40 15:00/15:20 18:00/18:20/18:40 本堂 ◎星祭御札祈禱会 招待制	4 赤口 立春 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
5 先勝 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 干支成満巡り 	6 友引 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★八琴庵定休日 ★永代供養受付定休日	7 先負 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	8 仏滅 ◎大日如来縁日 12:30 大日堂 理趣分経祈禱 	9 大安	10 赤口 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	11 先勝 戌の日 建国記念の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ◎合格祈願会 14:00 能満堂
12 友引 振替休日	13 先負 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 干支成満巡り ☆ゆらゆらヘアストレッチ 10:00/11:30 普照殿 ★永代供養受付定休日 	14 仏滅 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	15 大安 ◎東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり 	16 先勝 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	17 友引 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	18 先負 ◎観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 
19 仏滅 雨水	20 大安 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	21 赤口 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ☆マタニティヨガ 13:00 普照殿 要予約  弘法大師 興正寺マルシェ	22 先勝 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	23 友引 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	24 先負 ◎地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/ 紙芝居	25 仏滅 ◎合格祈願会 14:00 能満堂 
26 大安 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 赤口 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ★永代供養受付定休日	28 先勝 ▽仏典読み解き講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口 大晦日

智慧の御仏 虚空蔵菩薩さまと御縁を結ぶ

**秘** 能満堂 仏開扉 特別開扉

3月5日(月)・13日(火)  
10時~13時※入堂無料/開扉は法会后  
お問い合わせ先 TEL052(832)2801